

感染症情報 8月19日～25日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	698例(堺市	44例)
②RSウイルス感染症	244例(堺市	29例)
③手足口病	217例(堺市	6例)
④溶連菌感染症	202例(堺市	17例)
⑤ヘルパンギーナ	150例(堺市	10例)

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	14例(堺市	0例)
---------	--------	-----

お盆明けであったため、感染症報告数は前週比62.7%増(前々週比27.0%減)の1,928件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎、以下RSウイルス感染症、手足口病、溶連菌感染症、ヘルパンギーナの順であった。

感染性胃腸炎は府下でお盆前である前々週と比較して(以下同じ)11%減、堺市では5%増であった。RSウイルス感染症は府下で同21%減、堺市で前々週37例→今回29例(22%減)であった。手足口病は府下で同53%減、堺市で前々週32例→今回6例であった。溶連菌感染症は府下で同38%減、堺市で前々週43例→今回17例であった。ヘルパンギーナは府下で同48%減、堺市で前々週17例→10例であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。

8月5日から11日分 以前のは暫定値で、最新の集計はこちら

府下小児科197医療機関(堺市19)から 総報告数 2,642例

①感染性胃腸炎	<u>786例</u> (堺市	40例)
②手足口病	<u>461例</u> (堺市	32例)
③溶連菌感染症	<u>324例</u> (堺市	43例)
④RSウイルス感染症	<u>309例</u> (堺市	37例)
⑤ヘルパンギーナ	<u>287例</u> (堺市	17例)

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	23例(堺市	2例)
---------	--------	-----

下線部は数値が変わったところ